

提 言 書

作成者：新見市地域審議会

やさしさの健康都市部会

提言事項

新見市においては高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定し、高齢者支援の施策が実施されており、「地域包括支援センター」では、高齢者の安定した生活支援に向けて取り組まれています。また、安心して地域で暮らしていくための「小地域ケア会議」を立ち上げ、高齢者支援システムの実現に向けて進んでいます。

新見市地域審議会「やさしさの健康都市部会」は、市民と行政が協力（協働）し合うことにより充実した改善等を見いだせるテーマを設定し、共に支え合うやさしさの健康都市新見に向けての提言を次のとおり行います。

高齢者支援のネットワーク構築について
「小地域ケア会議」の推進に当たって

提言理由

「地域包括支援センター」は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられる支援の総合機関であります。そこからさらに地域の人々が地域の特性を活かして安全でイキイキと暮らすために地域に即した支援体制である「小地域ケア会議」の内容は、いろいろな角度から多くの事項が網羅されています。これが完全に実施されると、高齢者にとってはより安心して老後が送れるものと思われます。このことにより、高齢者が生き甲斐を持って生活することで健康寿命も長く保たれ、ひいては医療費軽減にもつながると考えます。

この施策は、スタート地点に立ったばかりで、それぞれ地域の抱える問題は多種多様であります。

スピード感のある対応・実施、更には「小地域ケア会議」を推進されるに当たり、特に、サービスを受ける側への配慮は重要であると考えます。

提言内容

別紙のとおり各項目について提案しますので、市役所担当部署に於いて実現方検討願います。

「小地域ケア会議」の推進に当たっての検討項目と改善策

改善策等の視点	高齢者が住み慣れた地域で出来る限り自立した生活が送れることを視点にした項目を設定し、改善策を検討します。
---------	--

検討項目	改善策等
会議の目的	<p>会議に於いて、地域に即した支援体制を話し合う上で、それぞれ委員が地域の課題を把握して共通の認識のもとで協議することが大切です。</p> <p>行政側は、地域で自然発生的な議論の盛り上がりを待つだけでなくむしろ積極的に行政が「共助」「公助」のビジョンを示して早く具体的な高齢者支援システムが実施されることを望みます。</p>
委員の構成	<p>地域住民の代表の中に愛育委員・老人クラブ代表を加えて構成メンバーの充実を図ってください。</p> <p>愛育委員は地域全体の福祉事業に従事し、実情を把握しています。</p> <p>老人クラブはサービスを受ける側の立場として、気持ちや意見が言えます。</p>
福祉情報の集約及び提供	<p>「ミニミニサロン」での交流活動の充実を図ってください。</p> <p>家族形態も変わり、大家族から高齢者のみの世帯も増加の傾向にあります。高齢者がイキイキと有意義に且つ自立した生活を送るためにも小地域で5～6人のサロンを増やすことにより、とじこもり予防・認知症予防・安否確認・健康づくり・地域のコミュニケーションを図ることにつながります。</p> <p>サービスの内容等の伝達と広報の充実を図ってください。</p> <p>高齢者は、自分は行政からどんなサービスを受けられるのかをあまり知らないのではないかと思います。民生委員による口頭伝達・「市報にいみ」による広報伝達が行われていますが、高齢者は文字を読んで理解するといった能力がだんだん低下しつつあるのが現状です。分かりやすい伝達方法を考慮してください。</p>
新たなサービスづくり	<p>自宅でできる体力づくりの充実を図ってください。</p> <p>元気で自立した生活がより長くできるのは誰もの願いです。告知放送・行政チャンネルでの呼びかけと、映像で体力づくりの指導があるとより多くの人々の体力づくりが図れると考えられます。</p> <p>このことは、高齢者に限らず市民みんなの体力づくりにつながるだけでなく、介護負担の軽減と医療費・介護費の軽減につながります。</p> <p>相談窓口の充実を図ってください。</p> <p>高齢者はサービスに関する内容や困り事の相談窓口を知らない人が多いので、「高齢者何でも相談」のような分かり易く、親しみ易い名称の窓口を設置してください。このことにより、支援を求めている人はより安心できます。</p>